

平成18年度

県民世論調査

県政全般について

JR高知駅前の県有地を活用した複合施設構想について

少子化問題について

健康づくりと医療について

地産地消と農山村について

暮らしと環境について

高知県

はじめに

平成12年に地方分権一括法が施行されて以来、国と地方は対等・協力の関係となり、「地方のことは地方が自ら決めて実行する」という真の地方分権の時代になりつつあります。

社会経済情勢の大きな変化に伴い、県民の価値観がますます複雑かつ多様化する中にあって、限られた財源を最大限に活かして、本当に必要なサービスに投資していくために、県民の声を広くお聴きし、県民のニーズに的確に対応した県民本位の県政を進めていくことが強く求められています。

この調査は、県民の皆様の県政に対する関心やご意見などを把握し、その結果を県政運営の基礎資料とするために実施したものです。

本年度は「県政全般」「JR高知駅前の県有地を活用した複合施設構想」「少子化問題」「健康づくりと医療」「地産地消と農山村」「暮らしと環境」について取り上げました。

これらの調査に集約された県民の声を、今後の県政に十分反映させるように努めていきたいと思っております。

おわりに、このたびの調査にご協力いただきました県民の皆様をはじめ、関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

平成19年2月

高知県総務部長

中澤 卓史

目 次

	ページ
I 調査の設計	1
II 調査結果の見方	3
III 調査対象者の特性	
1. 各調査地域別の調査票回収状況	5
2. 対象者の特性（グラフ）	5
3. 対象者の特性（数表）	8
IV 調査結果のあらまし	10
V 調査結果〔解説・グラフ〕	
[1] 県政全般について	
1. 「さんSUN高知」の閲読度	23
(1) 「さんSUN高知」の感想	24
2. 県への問い合わせの有無	25
(1) 問い合わせたの行政分野	26
(2) 問い合わせの際の対応の満足度	27
(3) 満足度の理由	29
3. [県政の経営方針]への賛否	30
4. 賛否の理由	31
5. 県政への県民の声の反映度	34
6. 反映度の理由	35
7. 県の行政サービスの評価	37
8. 評価の理由	39
9. 豊かさで重視すること	41
10. 高知県で満足していること	42
11. 高知県の豊かさ	43
12. 将来のための重点事項	44

解説・グラフページ 数表ページ

[2] J R 高知駅前の県有地を活用した複合施設構想について

解説・グラフページ 数表ページ

1 3. 高知駅前県有地の活用策	45	126
1 4. 複合施設構想に対する賛否	46	128
(1) 賛成の場合の望ましい施設の組み合わせ	48	130
(2) 望ましい施設の組み合わせの理由	49	132
(3) 反対の理由	50	134

[3] 少子化問題について

1 5. 少子化に対する問題意識	51	136
1 6. 少子化進行の不安	52	138
1 7. 結婚観	54	140
1 8. 独身者の結婚していない理由	55	142
1 9. 男女の出会いのきっかけ	56	144
2 0. 子どもの理想的人数	57	145
2 1. 子どもの現実的人数	58	146
2 2. 理想の人数だけ子どもを持たない理由	59	148
2 3. 少子化対策の具体策	60	150
(1) 望ましい経済的支援	61	152
(2) 仕事と子育て両立のための取組	62	154
(3) 便利な子育て支援サービス	63	156
2 4. 求められる少子化対策	64	

[4] 健康づくりと医療について

	解説・グラフページ	数表ページ
25. 健康の意識	65	158
26. 健康維持のための意識	66	159
(1) 気をつけていること	67	160
27. 健康診断の受診	68	162
(1) 健康診断を受診していない理由	69	164
28. 医療機関決定の方法	70	166
29. 医療機関決定の重視事項	71	168
30. 医療充実に望むもの	72	170
31. 医療機関の機能の連携に対する意向	73	172
(1) 医療機関の機能の連携に反対の理由	73	173
32. かかりつけの医師	74	174
(1) かかりつけの医師がいない理由	74	176
33. かかりつけの歯科医	75	178
(1) かかりつけの歯科医のいない理由	75	179
34. かかりつけの薬局	76	180
(1) 薬局を決めていない理由	76	181
35. 介護の際の生活スタイル	77	182
36. 自宅療養の条件	78	184

[5] 地産地消と農山村について

	解説・グラフページ	数表ページ
37. 「地産地消」の認知度	79	186
(1) 「地産地消」を知った方法	80	188
38. 「地産地消」のイメージ	81	190
39. 「地産地消」の重点的な取り組み	82	192
40. 農畜産物の選択基準	83	194
41. 農畜産物の国産品と輸入品の選択基準	83	196
(1) 農畜産物の県内産と県外産の選択基準	84	197
42. 水産物の選択基準	85	198
43. 水産物の国産品と輸入品の選択基準	86	200
(1) 水産物の県内産と県外産の選択基準	87	201
44. 「農山村」の言葉のイメージ	88	202
45. 農山村と都市との交流に望むもの	88	204
46. 農山村地域への期待	89	206
47. 農山村文化を残す価値	90	208
48. 農地、森林の多面的機能を維持する価値	90	209
(1) 機能維持のための県民の負担	91	210
49. 農山村を元気にする方法	92	212

[6] 暮らしと環境について

	解説・グラフページ	数表ページ
50. 自分が住んでいる地域の環境の実感	93	214
51. 関心がある環境問題の分野	93	216
52. 環境を守るための配慮	95	218
53. 地域の環境保全活動への参加の意志	96	221
54. 環境をよくするために行政が取り組むべき分野	96	222
(1) 特に取り組むべき分野とその方法	98	226
55. 環境保全の取り組みへの公共負担	103	234
56. 市民ファンドへの協力の意向	104	237
57. 市民ファンドへの出資に適切な金額	104	238
58. 市民ファンドへの出資の条件	105	240

VI 調査結果 [数表]

I 調査の設計

1. 調査の目的

この調査は、県民のニーズ・意識などを把握し、県政運営上の基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査事項

◆県政全般について

「さんSUN高知」の閲読度、「さんSUN高知」の感想、県への問い合わせの有無、問い合わせた行政分野、問い合わせの際の対応の満足度、満足度の理由、[県政の経営方針]への賛否、賛否の理由、県政への県民の声の反映度、反映度の理由、県の行政サービスの評価、評価の理由、豊かさで重視すること、高知県で満足していること、高知県の豊かさ、将来のための重点事項

◆JR高知駅前の県有地を活用した複合施設構想について

高知駅前県有地の活用策、複合施設構想に対する賛否、賛成の場合の望ましい施設の組み合わせと理由、反対の理由

◆少子化問題について

少子化に対する問題意識、少子化進行の不安、結婚観、独身者の結婚していない理由、男女の出会いのきっかけ、子どもの理想的人数、子どもの現実的人数、理想の人数だけ子どもを持たない理由、少子化対策の具体策、望ましい経済的支援、仕事と子育て両立のための取組、便利な子育て支援サービス、求められる少子化対策

◆健康づくりと医療について

健康の意識、健康維持のための意識と気をつけていること、健康診断の受診、健康診断を受診していない理由、医療機関決定の方法、医療機関決定の重視事項、医療充実に望むもの、医療機関の機能の連携に対する意向、医療関係機関の機能の連携に反対の理由、かかりつけの医師、かかりつけの医師がない理由、かかりつけの歯科医、かかりつけの歯科医がない理由、かかりつけの薬局、薬局を決めていない理由、介護の際の生活スタイル、自宅療養の条件

◆地産地消と農山村について

「地産地消」の認知度、「地産地消」を知った方法、「地産地消」のイメージ、「地産地消」の重点的な取り組み、農畜産物の選択基準、農畜産物の国産品と輸入品の選択基準、農畜産物の県内産と県外産の選択基準、水産物の選択基準、水産物の国産品と輸入品の選択基準、水産物の県内産と県外産の選択基準、「農山村」の言葉のイメージ、農山村と都市との交流に望むもの、農山村地域への期待、農山村文化を残す価値、農地、森林の多面的機能を維持する価値、機能維持のための県民の負担、農山村を元気にする方法

◆暮らしと環境について

自分が住んでいる地域の環境の実感、関心がある環境問題の分野、環境を守るための配慮、地域の環境保全活動への参加の意志、環境を良くするために行政が取り組むべき分野、特に取り組むべき分野とその方法、環境保全への取り組みへの公共負担、市民ファンドへの協力の意向、市民ファンドへの出資に適切な金額、市民ファンドへの出資条件

3. 調査の対象

県下全域、20歳以上の県民3,000人

4. 対象者の抽出

層化二段無作為抽出法

5. 調査方法

郵送法

6. 調査期間

平成18年10月20日（金）～11月20日（月）までの32日間

7. 実査および集計

株式会社 美建コンサルタント

8. 調査票配布数と回収状況

配布数 3,000票

有効回収数 1,313票（回収率 43.8%）

Ⅱ 調査結果の見方

- 1 解説は数表に基づき要点のみを記述してあるので数表と合わせて参照すること。
- 2 数表のサンプル（総合数）は有効調査総数を示し、比率（％）算出の基礎となっている。
- 3 数表に記入してある数値は、各回答項目に対する回答率である。

$$\text{回答率（％）} = \frac{\text{回答人数}}{\text{有効調査人数}} \times 100$$

なお、「総合」については、回答人数も合わせて記載した。

- 4 質問項目への回答は1つを選択、2つを選択、3つを選択、4つを選択、いくつでも選択などの方法を採用している。したがって複数回答の質問は比率を合計すると100％以上になる。
- 5 副問については、該当者の人数で回答率を算出した。
- 6 各質問に対する集計は、対象者の特性別（階層別）および回答者別（質問間クロス）で分析した。

- (1) 性 別 ……男女の別
- (2) 年 代 ……20代、30代、40代、50代、60代、70歳以上の6階層に分類
- (3) 婚 姻 状 況 ……未婚、既婚、その他（離別・死別など）の3種類に分類
- (4) 職 業 ……農林業、漁業、商工サービス業自営、事務職、技術職、労務職、管理職、自由業、主婦、学生、無職、その他の12種類に分類
- (5) 就 業 形 態 ……正社員・正従業員、パート・アルバイト、その他の3種類に分類
- (6) 世帯の年間収入 ……0～100万円未満、100～300万円未満、300～400万円未満、400～600万円未満、600～800万円未満、800～1,000万円未満、1,000万円以上の7種類に分類
- (7) 世 帯 構 成 ……本人のみ、本人と配偶者、本人と配偶者と子ども、本人と子ども、本人と配偶者と親、本人と親、3世代以上の同居、その他の8種類に分類
- (8) 子どもの状況 ……就学前の子どもがいる、小学生の子どもがいる、中学生の子どもがいる、高校生の子がいる、大学生・専門学校生等の子どもがいる、その他の6種類から選択（複数回答可）
- (9) 居 住 地 域 ……農村、山村、漁村、街中、住宅地、その他の6地域に分類

(10) 広域生活圏 ……高知市、安芸広域圏、南国・香美広域圏、嶺北広域圏、仁淀川広域圏、高吾北広域圏、高幡広域圏、幡多広域圏の1市7広域に分類

(11) 市部・町村部 ……高知市、高知市以外の市、町村部に分類

なお、対象者の職業別及び広域生活圏別判定は次のとおり。

◆職業別

農林業 漁業	}	(主婦の場合は家庭内の仕事と田畑、漁業に出る時間と比較して多いほうをとる)
商工サービス自営		(商店や工場などを自分でやっている人・家族従業者を含む)
事務職		(勤め人や公務員で主に事務系の仕事の人、課長以上を除く)
技術職		(主に技術系の仕事の人、看護師、保育士など、課長以上を除く)
労務職		(現場従事者、工員、運転手、店員、日雇い、大工など)
管理職		(勤め人、公務員で課長以上の場合、校長・教頭など)
自由業		(医師、弁護士、画家、僧侶、大学教授など)
主婦		(家庭内の仕事が一日で最も長い場合)
学生		(高校、短大、大学、その他の学校在学中)
無職		(年金などで生活しているか、自分の収入がなく、または働いていない場合)
その他		(上のいずれにも属さないもの)

◆高知市・広域生活圏別

高知市	
安芸広域圏	……室戸市、安芸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町、芸西村、北川村、馬路村
南国・香美広域圏	……南国市、香南市、香美市
嶺北広域圏	……本山町、大豊町、土佐町、大川村
仁淀川広域圏	……土佐市、いの町、春野町、日高村
高吾北広域圏	……佐川町、越知町、仁淀川町
高幡広域圏	……須崎市、中土佐町、四万十町、椿原町、津野町
幡多広域圏	……四万十市、宿毛市、土佐清水市、黒潮町、大月町、三原村

Ⅲ 調査対象者の特性

1. 各調査地域別の調査票回収状況

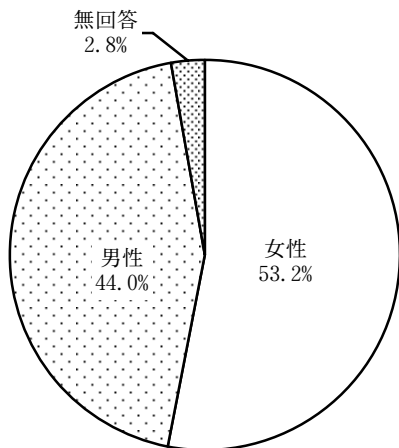
地域		配布数	有効回収状況		構成比 (%)
			回収数	回収率 (%)	
広域圏別	高知市	1,248	643	51.5	49.0
	安芸広域圏	224	61	27.2	4.6
	南国・香美広域圏	426	107	25.1	8.1
	嶺北広域圏	60	34	56.7	2.6
	仁淀川広域圏	294	111	37.8	8.5
	高吾北広域圏	112	41	36.6	3.1
	高幡広域圏	253	112	44.3	8.5
	幡多広域圏	383	146	38.1	11.1
	無回答		58		4.4
合計		3,000	1,313	43.8	100.0
町村部・市部別	高知市	1,248	644	51.6	49.0
	高知市以外の市	1,081	298	27.6	22.7
	町村部	671	268	39.9	20.4
	無回答		103		7.8
	合計	3,000	1,313	43.8	100.0

※本調査は郵便法で実施しており、有効な回答はそのまま反映されるため、「広域圏別」の高知市の回収数（643）と、「市部・町村部別」の高知市の回収数（644）は一致しません。

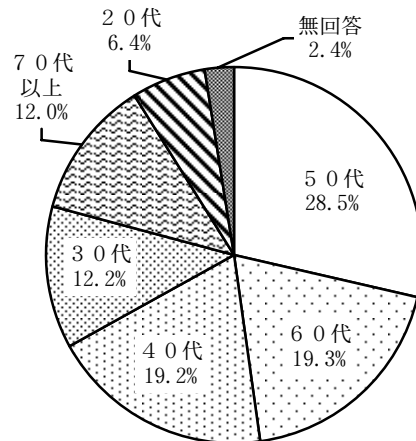
2. 対象者の特性—グラフ

本調査で有効回収した対象者1,313人の層別特性を図表示すると以下のとおりである。

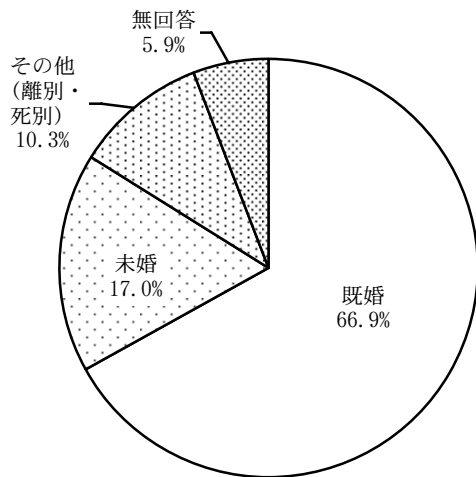
F 1 性別



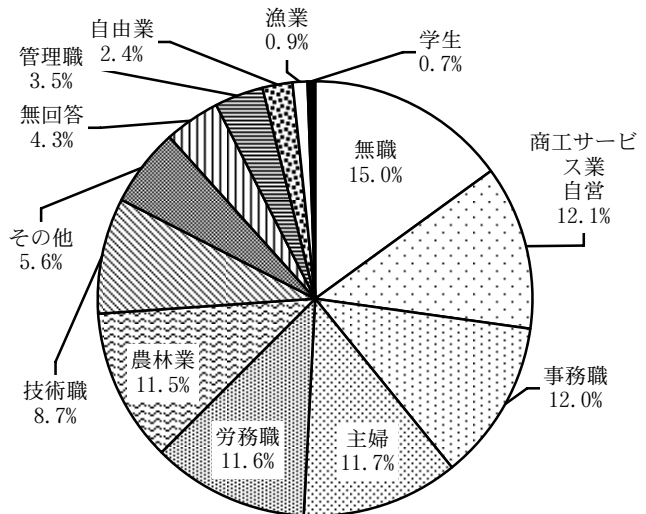
F 2 年代別



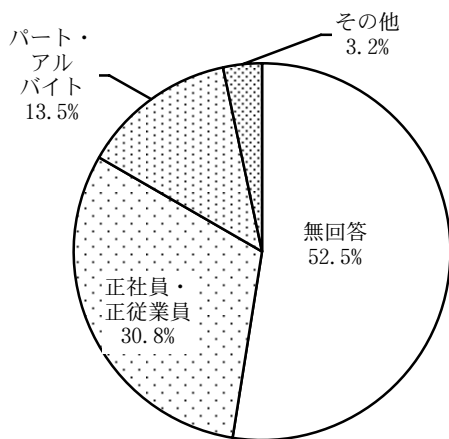
F 3 婚姻状況



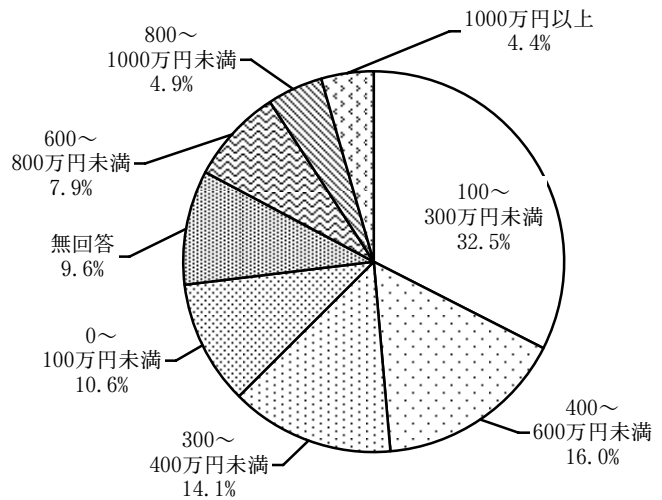
F 4 職業



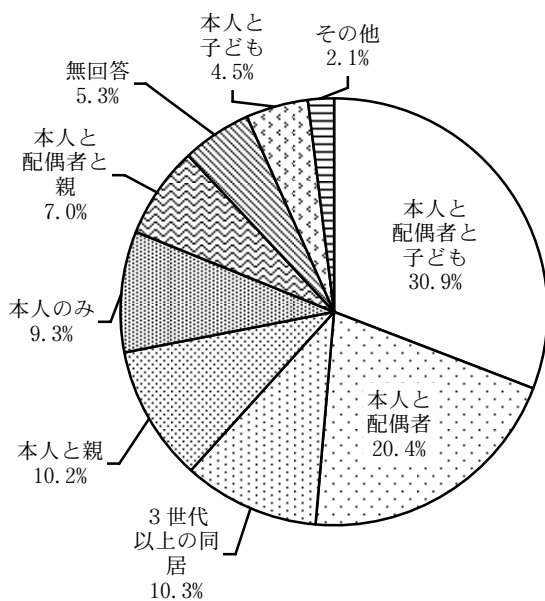
F 5 就業形態



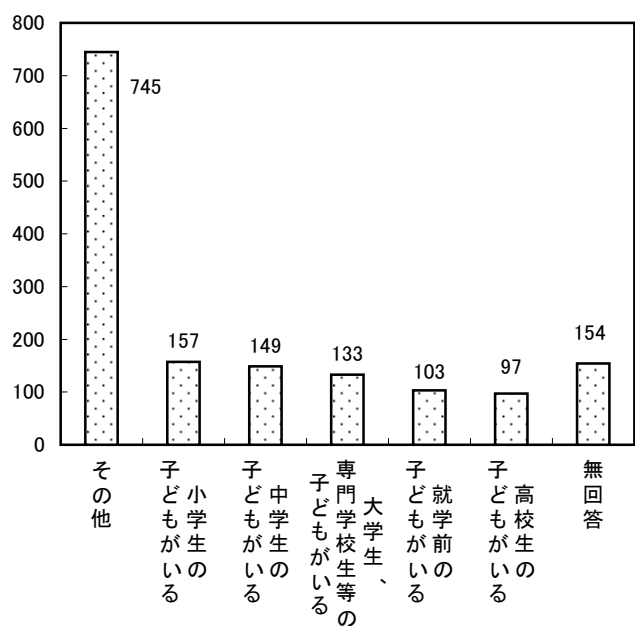
F 6 世帯の年間収入



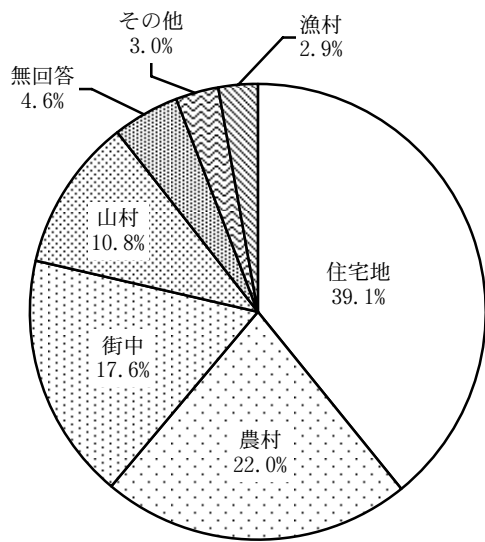
F 7 世帯構成



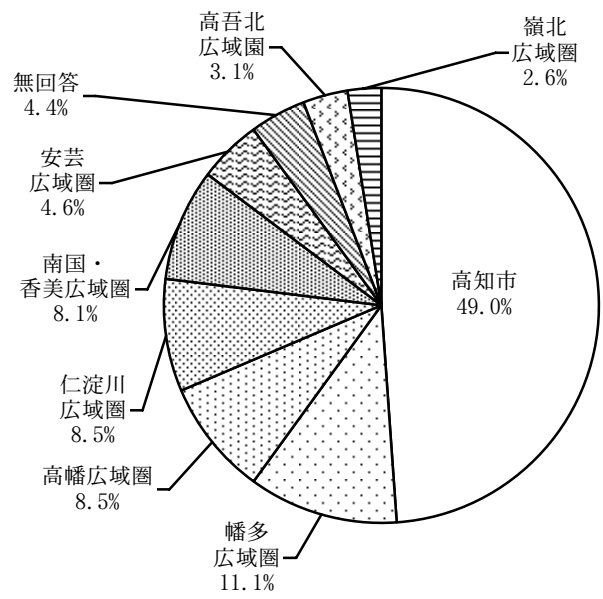
F 8 子どもの状況



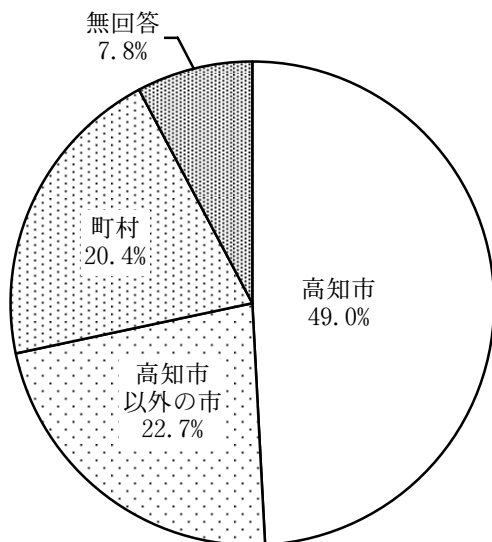
F 9 居住地



F 10 広域生活圈



F 11 市部・町村部



3. 対象者の特性－数表

F1 性別

	男性	女性	無回答	計
実数	578	698	37	1313
%	44.0	53.2	2.8	100

F2 年代別

	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答	計
実数	84	160	252	374	253	158	32	1313
%	6.4	12.2	19.2	28.5	19.3	12.0	2.4	100

F3 婚姻状況

	未婚	既婚	その他	無回答	計
実数	223	878	135	77	1313
%	17.0	66.9	10.3	5.9	100

F4 職業

	農林業	漁業	自営 商工 サービス業	事務職	技術職	労務職	管理職	自由業	主婦	学生	無職	その他	無回答	計
実数	151	12	159	158	114	152	46	31	154	9	197	74	56	1313
%	11.5	0.9	12.1	12.0	8.7	11.6	3.5	2.4	11.7	0.7	15.0	5.6	4.3	100

F5 就業形態

	正社員・ 正従業員	アルバイト	その他	無回答	計
実数	405	177	42	689	1313
%	30.8	13.5	3.2	52.5	100

F6 世帯の年間収入

	100万円未満	310万円未満	430万円未満	640万円未満	860万円未満	180万円未満	10万円以上	無回答	計
実数	139	427	185	210	104	64	58	126	1313
%	10.6	32.5	14.1	16.0	7.9	4.9	4.4	9.6	100

F7 世帯構成

	本人のみ	本人と配偶者	本人と配偶者と子ども	本人と子ども	本人と配偶者と親	本人と親	3世代以上の同居	その他	無回答	計
実数	122	268	406	59	92	134	135	27	70	1313
%	9.3	20.4	30.9	4.5	7.0	10.2	10.3	2.1	5.3	100

F8 子どもの状況

	子どもが就学前にいる	小学生が小学生のいる	中学生が中学生のいる	高校生が高校生のいる	大学生、専門学校生、子どもが等	その他	無回答	計
実数	103	157	149	97	133	745	154	1313
%	7.8	12.0	11.3	7.4	10.1	56.7	11.7	117.1

F9 居住地域

	農村	山村	漁村	街中	住宅地	その他	無回答	計
実数	289	142	38	231	513	39	61	1313
%	22.0	10.8	2.9	17.6	39.1	3.0	4.6	100

F10 広域生活圏

	高知市	安芸広域圏	香美・南国・香美広域圏	嶺北広域圏	仁淀川広域圏	高吾北広域圏	高幡広域圏	幡多広域圏	無回答	計
実数	643	61	107	34	111	41	112	146	58	1313
%	49.0	4.6	8.1	2.6	8.5	3.1	8.5	11.1	4.4	100

F11 市部・町村部

	高知市	高知市以外の市	町村	無回答	計
実数	644	298	268	103	1313
%	49.0	22.7	20.4	7.8	100